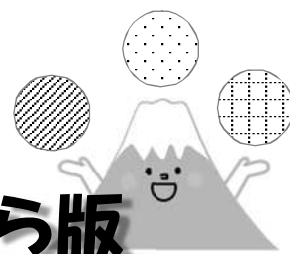


# 第3号

## 富士見丘小学校・中学校 改築かわら版



### 改築基本計画を策定しました！

富士見丘小・中学校の改築に向けて、改築基本計画の中間まとめを行い、11月4日（日）と11月6日（火）に地域の方々への説明会や意見募集等を行いました。さらに第7回の改築検討懇談会で意見交換を行い、目指す学校像や土地利用の方針、周辺道路環境の改善を含めた「改築基本計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### <基本計画の概要>



- 富士見丘小学校を移転し、中学校と一体的に整備します。
- 高井戸公園内に5,000㎡相当の多目的広場を設置し、小学校の運動場としても活用します。
- 高井戸西児童館内の学童クラブを改築に合わせて学校に複合化するほか、小学生の放課後等の居場所としても活用します。

### <改築基本計画（中間まとめ）説明会・意見募集での主な意見等>



▲説明会の様子



- 新校舎は、避難所として利用される想定でバリアフリーにも考慮してほしい。
- 小学校・中学校を隣接するメリットを生かしたより良い施設とすべきだと思う。
- 富士見丘通りに面して校舎を配置する案は、賑わいや街並み、防犯のほか、校庭と公園の一体的な利用のしやすさなど、メリットが大きいのではないかと。
- 学校と一般開放の出入口は明確に分け、小中体育館については地域の開放施設としても管理が共通できる位置におき、シャッターなどを設置すべきである。
- 多目的広場や公園まわりにフェンスを設置するなど、子どもたちの通学安全性を確保してほしい。
- 途中で一貫教育校にする場合も想定し対応可能な設計にしてはどうか。
- 以前から砂塵に悩まされているので、改築を機に人工芝の導入も検討してほしい。

### <第7回懇談会での主な意見等>

- 伝統や特色を継承することと合わせて、施設一体型の小中一貫教育校での事例を踏まえ、それぞれのよい部分をとればよいと思う。
- 4つの配置案の中で道路の付替えをしない案が、土地としての使い方としては一番有利である。
- 説明会では施設配置について様々な意見が出ていたが、今後の設計に期待したい。
- 上高井戸一丁目からバスに乗って高井戸駅まで行き、井の頭線で富士見ヶ丘駅へ行くという通学方法は1つのアイデアだと思う。
- 新しい学校づくりにあたって、子供たちの意見を聴く機会を作してほしい。
- 基本設計の素案がまとまった段階で、地元の方々に説明会を開くとよいと思う。

# 富士見丘小学校・富士見丘中学校 改築基本計画の概要

## <改築基本方針>

目指す学校像や改築にあたっての基本的考え方を、3つのビジョンと6つの目標及び23の具体的な取組として整理しました。（中間まとめから変更点は \_\_\_\_\_ で示しています。）

### <ビジョン>

**【ビジョン1】**  
これまでの富士見丘小学校・富士見丘中学校の伝統と特色を継承し、個々の小学校・中学校と引き続き高井戸小学校を含めた3校で小中一貫教育に取り組みます

**【ビジョン2】**  
高井戸公園と隣接する周辺環境などを生かして、改築を機に、学習・スポーツ等の環境向上と、あわせて地域防災力の強化を図ります

**【ビジョン3】**  
地域最大規模の公共施設である点を踏まえ、可能な限り小学校・中学校・地域が共用できる施設とするとともに、将来に渡って使い続けられる柔軟で効率的な学校づくり

### <目標>

**目標Ⅰ.**  
多様な学び・活動の場と質の高い学習環境を備えた学校づくり

**目標Ⅱ.**  
部活動の諸課題を克服し、生涯スポーツの拠点となりうる学校づくり

**目標Ⅲ.**  
地域とともに歩む「新たな公共空間」として、地域の生涯学習を支援する学校づくり

**目標Ⅳ.**  
高井戸公園等の良好な周辺環境と調和した学校づくり

**目標Ⅴ.**  
小学校・中学校の一体的整備の利点を生かすとともに、将来に渡って使い続けられる柔軟で効率的な学校づくり

**目標Ⅵ.**  
立地特性を生かし、安全・安心で、より高度な防災拠点となりうる学校づくり

### <取組>

- ①コミュニケーションの場となる多目的スペースの確保
- ②ICT環境の充実
- ③集中して学習できる自習スペースの充実

- ①中学校の校庭面積の拡大
- ②校庭や体育館の地域開放の推進
- ③地域の特徴的なスポーツである硬式テニスコートの整備
- ④多用途に活用可能な体育館設備の整備

- ①学校諸室の地域開放の推進
- ②開放会議室の設置
- ③学校支援本部室の設置

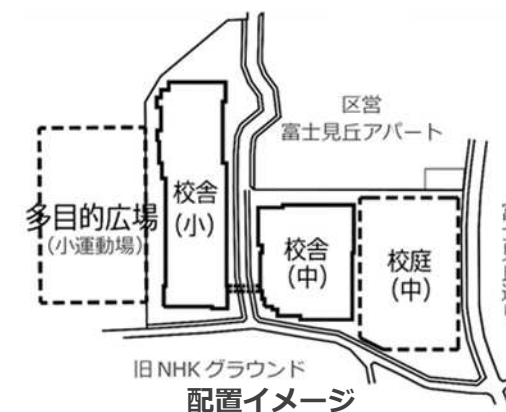
- ①みどりあふれる良好な環境の積極的な活用
- ②高井戸公園内の多目的広場を活用した運動環境の向上
- ③公園や神田川に近接した立地を踏まえた景観形成

- ①小学校・中学校の領域を分けた独立性の高いゾーニング
- ②一部諸室を小・中で共有化し多様な学習環境を提供
- ③学童クラブの校内配置と小学生の放課後等居場所の実施
- ④簡素で効率的な施設設計と維持管理コストの削減
- ⑤将来の児童生徒数の変化等に対応できる柔軟性の確保

- ①学校専用部分と地域開放領域に配慮したゾーニング
- ②広域避難場所と隣接した環境を考慮した防災機能の強化
- ③多様な利用者に配慮した施設設計
- ④敷地の外周道路等の整備を通じた地域の安全性向上
- ⑤安心して子どもたちが通える学校づくり

## <施設整備計画>

新校舎の配置を検討するにあたり、現在の中学校敷地と旧企業用地（小学校移転用地）は区道によって2敷地に分かれており、また区道には下水管の本管が通っていることから、区道の付替えの有無や下水管の移設の有無等により4つの配置案を示し、改築検討懇談会で意見交換を行ってきました。



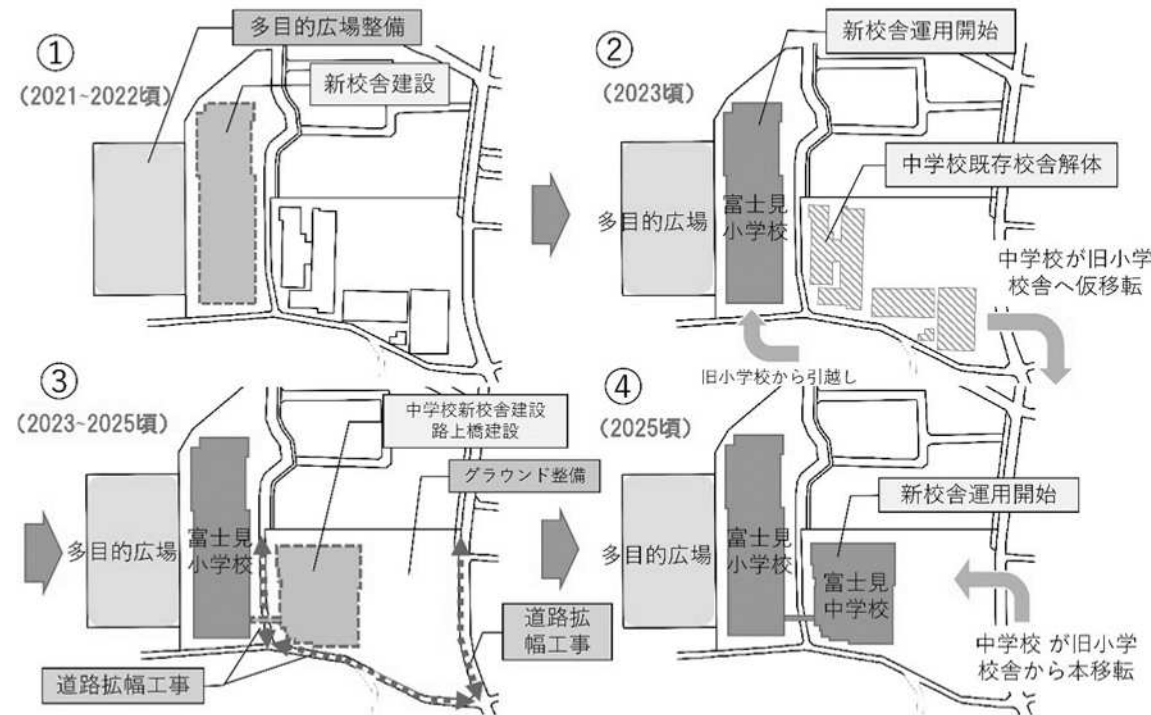
### <今後の取組の方向性>

検討した4案のうち、必要な諸室面積やまとまった校庭面積を確保できるとともに、教育環境、道路・防災・周辺住環境への影響、整備コスト等の面でも、総合的に優れていることから、両敷地の建築物を総合的に設計し一団の土地として活用する案を目指します。

今後は、懇談会でのご意見等も踏まえ設計や必要な許認可の取得等を進め、富士見丘小学校・富士見丘中学校の教育環境の向上に取り組めます。

※校舎の配置は一例であり、今後の検討により変更になることがあります。

## <想定される改築手順及び整備スケジュール>



※今後のスケジュールは、必要な許認可や発注手続き等によって変わる可能性があります。

	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)	平成33年度 (2021)	平成34年度 (2022)	平成35年度 (2023)	平成36年度 (2024)	平成37年度 (2025)	平成38年度 (2026)
小学校	設計		西側小学校校舎建設			小学校新校舎運用		
中学校			多目的広場整備工事		中学校校舎解体	東側中学校校舎・路上橋建設工事	中学校外構・周辺道路拡幅工事 (旧小学校校舎使用)	中学校新校舎運用

## <今後の取組課題>

### <「安心して通える学校づくり」に関連した区の実施の方向性>

- (1) 一部地域からは複数の幹線道路を超えて通学する児童もいることから、関係機関と連携してハード・ソフトの両面から通学路の安全確保策について検討します。
- (2) 一部地域で通学距離が長くなる児童もいることから、居住地や子どもの体力等に応じて就学先や通学手段を選択できるよう、指定校変更や公共交通機関の利用などについても柔軟な対応を検討します。



## 今後の進め方（予定）



平成 31 年度（2019 年度）は、引き続き改築検討懇談会との意見交換を行いながら、基本設計を進めていきます。なお、今後も改築かわら版の発行や各種説明会の開催など、保護者・地域住民等への周知を図ってまいります。

### 富士見丘小学校・中学校改築かわら版（第 3 号）平成 31 年 1 月

〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南一丁目 15 番 1 号  
杉並区教育委員会事務局 学校整備課 教育施設計画係  
TEL03-3312-2111（内線 1698）FAX03-5307-0693  
E-mail : gako-seibi@city.suginami.lg.jp

※改築基本計画、説明会での主な意見、懇談会の資料や会議録等は、教育委員会ホームページに掲載しています。

教育委員会 HP : <http://www.city.suginami.tokyo.jp/kyouiku/>



● 学校施設の改築・改修、新しい学校づくり

左欄にある上記の項目をクリックして下さい。



個別の計画

現在進行している計画

- [高円寺地域における新しい学校づくり](#)
- [富士見丘小・中学校の改築](#)

上記の項目をクリックして下さい。